

2006 年度

日本選手権 3位2名、4位1名

日本選手権 (兵庫県:神戸市)

井幡 磨

1500m 3分44秒79

岩佐敏弘

10000m 29分01秒53

男子千五百メートル・井幡(写真)と、同一万メートル・岩佐(同左)の大塚製薬勢がダブル入賞(3位)を果たした。

先陣を切ったのは井幡。残り100メートルを抜く粘り強い走りをみせ、関西勢トップでゴール。初の表彰台に立った井幡は「気分がいい」と笑みを浮かべた。

岩佐は5000メートル以降、先頭に出場予定。「札幌でも順位を狙っていく」と意気込んだ。

富山県出身の27歳。10日から欧州遠征に出掛ける。「まずは自己記録を塗り替えることを目標に、一歩ずつ前進していきたい」と力を込めた。

岩佐は5000メートル以降、先頭に出場予定。「札幌でも順位を狙っていく」と意気込んだ。

大塚製薬勢

徳島新聞 7/2

男子800メートルで4位入賞した中野(大塚製薬)は「表彰台逃し悔しい」とラスト2000メートルで、昨年3位の中野(大塚製薬)は集団の後方から猛然と追い上げたが、上位をつかまえ切れず4位。2年連続の表彰台を逃し「スタート前の位置が後ろ過ぎた」と残念そうだった。

左ふくらはぎを痛め、シーズン当初は出遅れたが、5月の関西実業団選手権以降は走るたびにタイムを締め好調だった。この日も「体の切れはよかった」だけに、位置取りが悔やまれるようだ。

日本歴代10位の記録(1分48秒0)を持つ愛媛県出身の26歳。同記録とアジア大会選考基準記録は同じタイムで、「10日からの欧州遠征で自己ベストを更新したい」と力を込めた。

徳島新聞 7/2

Otsuka Track & Field Team
since 1990

徳島新聞 3/7

Otsuka Track & Field Team
since 1990

日刊スポーツ 3/7